

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立明峰小学校 教諭 田中 富二子	研究グループ名 (共に学び個を生かす学級作りの会)
-----------------	------------------------	--------------------------------

研究テーマ分類番号 (9)

(1)研究テーマ

共に学び個を生かす学級作りをどのように進めていくか？
～発達に課題のある子どもたちを通常学級の中で育てる方法をさぐる～

(2)研究経過及び具体的な取組

- 8月6日 兵庫県情緒教育研究大会神戸大会 3名参加
・場 所：神戸芸術センター
・内 容：「一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援のあり方」
- 8月24日 阪神特別支援学校主催講演会参加 3名参加
・場 所：西宮市立勤労会館
・内 容：演題「特別支援教育におけるコミュニケーション支援」.
講師 香川大学准教授
- 8月28日 川西市特別支援教育コーディネーター研修参加 4名参加
・場 所：川西市中央公民館
・内 容：「みんなの特別支援教育」講師 関西国際大学教授
- 8月20日 講師を招いての事例検討会(1)
・場 所：川西教育情報センター指導室 参加者 10名
・内 容： WISC- の基本と解釈 - 講師より
発達障害の子の特徴 講師より
友達関係がうまくいかない、自分の事をわかっていない、集団行動ができない子への手立てを交流し、講師から怒りのコントロール、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、アサーショントレーニング等を取り入れる助言を受けた。
高機能自閉症と診断された子への具体的手立てを交流し、助言を受けた。
親子 SST(ソーシャルスキルトレーニング) の実際
・講 師：臨床心理士
- 11月13日 講師を招いての事例検討会(2)
・場 所：川西教育情報センター指導室 参加者 7名
・内 容： アスペルガー症候群と ADHD の子への具体的手立ての交流と助言。
保護者にも子どもにもポジティブな言葉かけを増やす。
本好き・人に興味ない・算数苦手・離席多い・多動・整理整頓苦手な子への手立てを交流、助言。イメージを変える。ルールのある学習をする。
今年度の気になる子の交流
それぞれ気になる子について、講師や参加者に意見を求めた。
・講 師：臨床心理士

【成果と課題】

事例をもとに具体的な取り組みや手立てについて交流、検討することができた。個の特性に応じた方法が多数出された。講師から事例に応じた対処の仕方やソーシャルスキルトレーニングや怒りのトレーニングなどの方法を提案してもらえた。しかし、それらを行う時間や場所の確保が課題である。